



The Coca-Cola Educational &
Environmental Foundation

私たちは応援します



2010年10月18日

報道関係各位

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団

MOTTAINAI に続く、日本ならではの環境メッセージを発信

大学生が「COP10」にて世界へむけた 生物多様性保全への意見を提言

10月27日（水）熱田神宮公園・28日（木）名古屋学院大学体育館にて実施

日本の6つの大学から学生が参加する、「コカ・コーラ学生環境サミット」（主催：財団法人コカ・コーラ教育・環境財団 以下、当財団）は、2010年10月27日（水）と28日（木）の2日間、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）の併催屋外展示会「生物多様性交流フェア」内で、生物多様性に関する意見提言を行います。

「コカ・コーラ学生環境サミット」とは、当財団の“環境マインドを持った次世代リーダー育成”の一環として企画したもので、COP10での意見提言（プレゼンテーション）をきっかけに、日本の大学生が生物多様性について共に考え、議論を深め、世界に向けて意見を発信することで、世界規模でこの問題についてリーダーシップ発揮して欲しいとの願いを込めたものです。

「コカ・コーラ学生環境サミット」では、生物多様性の問題について議論を重ねる中で、生物多様性破壊の要因を、“生物多様性に関する一般の認知が低く、人々が生物多様性に配慮した行動をとることができていないため”と考えました。当日のプレゼンテーションでは、人々が普段意識することの少ない、生きもの同士のつながりと、それに生かされていることへの感謝を喚起するため、他者からの恩恵を表す日本語を掲げます。そして、その言葉を生物多様性保全の精神として世界に向けて提唱し、生物多様性の問題解決のための意見提言としてアクションプランとともに発表します。

両日とも、意見提言のプレゼンテーションと併せて、生物多様性保全への提言内容や、当財団の活動を紹介するパネルの展示も予定しており、多くの市民の方にとって生物多様性への問題を考えるきっかけとなる機会として、たくさんの方のご来場をお待ちしております。

「コカ・コーラ学生環境サミット」意見提言 概要

日 程：	10月27日（水）	13：30～14：30
	10月28日（木）	15：30～16：50
場 所：	10/27（水）	熱田神宮公園「生物多様性交流フェア」ステージ （愛知県名古屋市熱田区旗屋1丁目10）
	10/28（木）	名古屋学院大学体育館 大会場 「生物多様性交流フェア」フォーラム （愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号）
参 加：	申込不要・無料	
主 催：	財団法人コカ・コーラ教育・環境財団	
後 援：	環境省	
問 合 せ：	特定非営利活動法人プロデュース・テクノロジー開発センター TEL：0774-65-7835	

ご参考情報

■ ポスターセッションの実施

日時： 10/27（水） 15：00～16：00
10/28（木） 11：00～14：00

場所： エキスポゾーン内 環境省ブース（愛知県名古屋市熱田区熱田西町）

■ 「コカ・コーラ学生環境サミット」メンバー

小塚 高広（こづか たかひろ）	慶應義塾大学 理工学部 生命情報学科
鈴木 一星（すずき いっせい）	東海大学 教養学部 人間環境学科 自然環境過程
坂巻 央（さかまき あきら）	東海大学 教養学部 人間環境学科 自然環境過程
杉山 達彦（すぎやま たつひこ）	東京大学 工学部 システム創成学科 環境・エネルギーシステムコース
服崎 耕司（ふくざき こうじ）	東京大学 工学部 システム創成学科 環境・エネルギーシステムコース
長南 安香（ちょうなん やすか）	東京学芸大学 教育学部 環境教育専攻
森岡 杏（もりおか もも）	同志社大学 法学部 政治学科
加藤 麻希（かとう まき）	同志社大学 法学部 政治学科
引地 慶多（ひきち けいた）	早稲田大学 創造理工学部 環境資源工学科

他 11 名 計 20 名

■ 財団法人コカ・コーラ教育・環境財団 概要

名 称： 財団法人コカ・コーラ教育・環境財団
英 字 名 称： The Coca-Cola Educational & Environmental Foundation
監 督 行 政： 文部科学省
許 可 日： 2007年6月25日
理 事 長： 末吉 紀雄
所 在 地： 東京都港区六本木 6-2-31
ホ ー ム ペ ー ジ： <http://www.cocacola-zaidan.jp/index.html>
概 要： 財団法人コカ・コーラ教育・環境財団は、2007年6月に37年継続していた日本コカ・コーラボトラーズ育英会と14年継続していたコカ・コーラ環境教育財団の事業を継承し、一元的に運営、推進できる母体として設立されました。心豊かでたくましい人づくり（Healthy Active Life）を理念とし、環境教育、教育支援、スポーツ教育を柱とした貢献事業を企画、提供することにより、国際社会が求める青少年の育成と、彼らを取り巻く地域社会を支える人材の育成を通じ、豊かな国際社会の形成及び国際親善に寄与することを目的に多様な事業を展開しています。